

STRONG RED

written by HADEYA

1

第一コーナーを曲がり、直進道に入った。ギアを上げ、アクセルを踏む。
ブッチギる。事実、ゴールまでブッチぎった。スキー事故からの復活後、全レースで〈優勝〉を飾っている。

.....皆が気になるのはスキー事故の事だろう。何が起きたか以下に説明する。

レース中に俺は〈スピードの限界〉を超えたんだ。
そいつは俺を見ていた。目の持ち主は、神。あいつの言っている事は正しかった。

俺は見た———異世界を。連続性を超え、そのまま限界を超え続ける。
すると病床にいたのだ。身体が不自由になって。
何故、不自由になったかは妻から聞かされた。何でもスキーで事故を起こしたとか？
誓って言うが、俺はスキー事故など起こしていない。

何れにせよ、俺は全身不随になった。その間、頭の中で何を見ていたか。
俺は.....走行し、なおスピードの限界に挑み続けていたのだ。
そして今日、この小説の執筆者である〈神〉と実際に対話したのだ。私は本物だと確信した。

彼と会った瞬間に全身が呪縛から解け、レーサーに復活したからだ。

俺は根っからのスピード狂だ。これからも速度の限界に挑み続ける。
そして俺は知るだろう。無限大の意味を。

俺は走る。走り続ける。永遠に。その時、俺は———
さらに加速する。(了)

キリミハデヤ

hadeyakirimi@gmail.com

81-080-9832-0574

モリカワ ケンタロウ 口座番号
三井住友銀行(店番号232) 普通口座 口座番号:7342872